

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	13	0	0	13

前回の改善計画	
・初回利用時に関わった職員が中心となり情報共有し、初期支援に必要な早期対応や今後に向けての課題を検討する。ご家族の役割を明確にし、できる支援を継続してもらえ環境をつくる。	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・初回に関わった職員で情報の共有が出来るよう間取り図なども含めて細かく作成したことでスムーズに支援に入ることができた。 ・初期支援に必要な早期対応や今後の課題検討は出来ていると思われる。 ・職員間で情報共有が出来ているが、タブレット内容について情報の読み落としがあり把握出来ていない事もある。 ・職員が全てを代行しないように、ご家族の出来ることを探したり助言をしている。ご家族からの協力を得ながら出来る範囲で支援を行っているがご家族の役割を明確に出来ているかは不明。	

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	10	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	13	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	11	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	13	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基本情報の回覧で情報共有が出来ている。 ・援助に入る前に実際に関わった職員に話を聞くことでスムーズに関わる事が出来た。 ・必要としている支援であるかどうかをアセスメントし、職員間やご家族と共有して互いに不安のない関係作りに努めている。 ・利用開始時期は不安感や居心地の悪さを軽減出来るように寄り添える声掛けをしていた。通いでは職員が間に入って他利用者との会話を繋げた。	
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・情報量が多く整理(把握)出来ていなかった。 ・緊急性の高い場合やご家族が遠方(又はいない方)の場合は事前情報だけでは十分にご本人のニーズや生活情報を把握しきれなかった。 ・サービス開始から一定期間後に現状の支援がご本人にとって過度な支援になっていないか評価するべきだと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・小規模の利用で何を望んでいるのかニーズをしっかりと把握し、ご利用者にとって必要な支援とご家族が出来る支援及びインフォーマルな支援を明確にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	9	4	0	13

前回の改善計画

・ご利用者の「～したい」について職員間で話し合い、現状としてどのような関わりをしていけば達成できるか検討する。できる範囲で理解し、取り組む。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・関わる時間を持ち、通いの中での会話や訪問での環境の変化や気づきを迅速に職員間で話し合い取り組むことに努めた。
・アンケートを実施し「～したい」を知ることが出来たが、把握出来ない方もいた。把握できない方については職員間で話し合うなどプラスの対応をすることができなかった。
・外出等で「～したい」を実現できた方もいた。ただ、ご利用者によっては「～したい」の要望が現在のADLでは難しいこともあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	0	3	10	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	6	7	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	9	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	7	6	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・「～したい」はタブレットに青○で記入し共有している。
・日々の関わりで「～したい」を把握し、出来る支援かどうか声に出すよう努めた。
・すべてを叶えることは難しいが、アクティブや行事内容を工夫したり、外出の機会を設けるなど取り組み、その取り組みを通して新たな「～したい」の把握に努めた。
・ミーティングや日々の業務の関わりで次の対応に活かすことが出来ている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・登録人数が増えたこともあり「～したい」が分かっているにもかかわらず業務が優先で行動する余裕がなかった。
・外出行事ではADL等で参加者を選定してしまい偏りがあった。自分から言えない方の希望に沿うことは難しい。
・ゴールを全く把握出来ていない。穏やかに過ごしてもらう事を目的にしている。
・ご本人のしたい目標と、ご家族の必要な支援の間に温度差があり取り組むことが出来ない現状があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・職員間で「～したい」の実現に向けて具体的に話し合い、実現可能なもの、優先度の高いものなど決めて取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
3. 日常生活の支援	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	10	3	0	13

前回の改善計画	
・日常生活環境から状況に合わせた支援に繋げるため常に気付きの意識に努める。「暮らしの情報シート」(アセスメント表)を活用し職員間で共有する。	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・タブレットや申し送りにて情報の共有が出来ている。 ・訪問先での小さな変化や気付きに意識して支援することが出来た。 ・暮らしの情報シートをあまり活用出来ていなかった。 ・何気ない会話の中で気付いたこと、支援に繋がることはタブレットに記入し共有出来るように努めた。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	2	10	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	10	3	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	10	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	11	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・気付いたことは直ぐに職員で共有出来ている。その環境がある。 ・状況の変化に気付いた時1人で判断せず、できるだけチームへ共有して即時に支援が出来るようにした。 ・ミーティングやタブレットで情報共有し統一したケアが行えるように努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・暮らしの情報シートの内容を把握出来ていなかった。アセスメントの十分な時間を持たなかったため「以前の暮らし方」が分かっていたいなかった。 ・ミーティングではなく、その日にいる職員と話をすることが多かった。ミーティングでは業務のことが多く議題にあがり、利用者関係での話し合いが少なかった。 ・体調は日々の関わりやバイタル測定(血圧測定など)ですぐに気付けたが、気持ちの変化に対しては迅速な支援ができなかったかもしれない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・会話を通して以前の暮らし方の把握する。体調面だけでなく気持ちの変化が見られた場合は共有し迅速な支援に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑥ 前回の課題について取り組みましたか？	0	8	5	0	13

前回の改善計画	
・担当職員及び日頃の関わりの中で職員が知り得た”その人について”を「暮らしの情報シート」(アセスメント表)で共有し、地域との関わりを継続できるよう支援内容を検討する。	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・どのような生活を送ってきたかは情報を見て把握した。住み慣れた地域で在宅生活が継続出来るように、その方に必要な支援が出来た。 ・地域と関わる時間が少なかった。地域とご利用者の関わりについて考えることが出来ていなかった。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	11	2	0	13
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	11	1	1	13
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	8	0	13
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の話を聞いたり、個別性を見て対応している。 ・ご利用者の思いや趣味は大切にしている。日常の援助や会話の中で理解するように努めた。 ・出来るだけ住み慣れた場所での生活が出来るように家族との関係も把握するようにしている。ご家族に情報を伝え、協力して在宅生活が続けられるようにしている。 ・地域の運動会に参加し、ふれあいが出来た。	
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・支援内容により在宅での様子が把握できる方もいるが、訪問支援が必要ない方や自立度が高い方は在宅での過ごし方を把握するのは難しい。 ・小規模が関わっている時間以外のことをご本人からお聞きするが、実際にどう過ごされているのか分からない時がある。 ・ご家族との情報共有は意識しているが、現状なかなか出来ていない事もある。 ・信頼関係が出来ていない中で理解するのは難しかった。また目の前の援助に追われ本人の生活やその質といったところまで考えることができなかった。 ・利用者がどこまで地域とつながっているのかを把握出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・担当職員を中心に1対1で会話する時間を作り生活パターンなど知る。地域との関わりを継続できるよう支援内容を検討する。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和6年11月1日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑥	前回の課題について取り組みましたか？	0	11	2	0	13

前回の改善計画

・気付きをそのままにせず、発信共有し支援に繋げる。援助を増やす検討だけでなく、本当に必要な援助なのか精査することで自立に向けた支援につなげる。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・気付いた事はすぐにタブレットに入力し職員で共有出来ている。
 ・その方に必要な援助内容が都度検討出来ているが1度増やした援助を減らすことは難しい。本当に必要な援助なのか精査し、ご家族の理解の上で適切な支援につなげる難しさを実感している。
 ・自立支援のため出来ることはしていただく。入浴介助で本人が出来ることは少し時間がかかっても出来るだけやってもらうように心がけている。
 ・本人の状態や家庭の状況に合わせて、援助内容の変更を検討し対応した(時間の変更や、利用の追加、利用日の増減等)。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	9	4	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	11	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	13	0	0	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者やご家族が不調の時はサービスの組み換えを柔軟に出来ている。緊急に応じて宿泊を追加するなど柔軟な支援が出来た。
 ・タブレットで気付いた点をあげて変化を共有することが出来ている。自宅でのその方の生活動作と小規模利用時での動作に差がないように務めた。
 ・訪問時に行う予定の援助を既にご自分で済まされていることがあるが、なぜこの支援が必要なのかを家族視点になって考えながら援助に入った。
 ・変化に応じて管理者、看護、介護で話し合いスムーズにサービスを提供することが出来た。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・柔軟な対応やニーズに合わせた援助に努めたが、ご利用者とご家族とでサービスに対する考え方や希望する援助内容が違う場合があり難しさを感じた。
 ・地域の資源を用いる具体的な支援を把握出来ていない。
 ・通い、宿泊の人数など事業所の都合によりニーズに合わせた対応が難しい時があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ご利用者、ご家族それぞれが希望するサービスの擦り合わせを行い、支援が現状に合っているのか、本人は希望しているのかを共有する。小規模が提供するサービスとずれがある場合は定期的に話し合う機会を設け解消できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
6. 連携・協働	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	9	2	2	13

前回の改善計画

・地域にどのような活動があるか情報を集め、参加できる地域活動は積極的に取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・近隣小学校の運動会に参加したり、地域で行われるコンサートに出かけたりした。積極的に地域の行事や活動等に参加し外部との関わりを持った。
 ・包括や地域(大島、希望が丘)のコミセンに連絡を取り情報収集を行った。
 ・地域の活動が春や秋に集中していたりセンター内の行事や職員体制により通年で定期的に参加することは難しかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1	5	6	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	4	6	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	1	3	6	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	4	9	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・医療機関や訪問看護の情報はタブレットで連携することで共有できた。看護師やケアマネジャーが中心になりながら直接話をする事で具体的な情報共有ができています。
 ・何かあったらご利用者に関わっているサービス機関(訪問看護、薬局等)に連絡し相談も出来ていた。
 ・運動会やコンサート、外出行事に参加した。参加された方は楽しそうに喜ばれていた。子供や地域の方々との交流も図れた。
 ・担当者会議に参加し、他事業所との連携もあった。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の方々が事業所に訪れる機会がない。外部や地域の方々が訪れる機会はまだまだ難しいと感じた場面もあった。
 ・自治体や地域包括支援センターとの会議に参加できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・参加できる地域活動、会議には積極的に取り組んでいけるよう引き続き情報収集を行い、計画と体制をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
7. 運営	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩ 前回の課題について取り組みましたか？	1	11	1	0	13

前回の改善計画	
・よりよい事業所になれるようご利用者への関わり方や事業所のあり方について職員それぞれが意見を持ち、それらを発信し運営に活かす。今後も可能な限り多くの職員が運営推進会議に参加する機会を設ける。	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
・業務の都合上参加できない職員はいるが、資料を通じて情報共有し内容を理解している。 ・ミーティングを通じて業務の見直しについての意見を言い合う事が出来た。 ・運営推進会議に参加し外部の方から意見を頂く事で、客観的な視点を持てる機会や事業所のあり方について学べる機会になった。 ・担当ご利用者は通いのみの方で普段は玄関先での対応の為、担当者会議で自宅に入らせて頂いた際に生活の一部を見る事ができ、関わりがない時間帯での生活を知る事ができた。 ・昨年からは開始になったパン販売は好評であり、通いの楽しみになっている方もいた。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	9	3	0	13
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	11	0	0	13
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	9	4	0	13
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者やご家族からの意見の中で重要項目は迅速に情報共有と話し合いができていた。解決できない場面については専門機関に助言を求めている。 ・意見や苦情に関しては報告と相談、情報共有を意識し、迅速に対応し改善に努める事で援助にも反映していた。 ・ミーティングで話し合った内容は業務に反映している。 ・広報誌を月事に作成し、センターでの様子を伝える事ができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域に必要とされる具体的な取り組みが見えにくい、実施しにくい場面もある。 協働した取り組みが行われていない事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・より質の高いサービスの提供に繋がられるよう職員全員が考えミーティングなどで共有する。引き続き運営推進会議に参加する機会を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	1	12	0	0	13

前回の改善計画

- ・内外部への研修参加を優先し、スキルアップにつなげる。
- ・ヒヤリハットを活かすために、周知方法を工夫し改善策を分析する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・外部研修は業務都合上参加できなかったが内部研修は毎月複数の部署で話し合う事で目的を定めて内容の検討と実施ができた。
- ・ヒヤリハット、事故報告書の集計を行った。一部のご利用者の報告内容が多かったためミーティングで検討する機会を設けたり、援助の統一化に繋げる事ができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	7	3	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	0	12	0	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	6	6	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	2	0	13

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

- ・事故対策委員では、事例を話し合う事でどのような取り組みをしているのか話し合っている。
- ・各部署から研修担当者を決めて、目的を定めて研修を実施している。参加できない際は回覧資料に目を通す事で、研修内容も共有できた。
- ・インシデントにならないように事前にどのやり方がベストなのか日々の援助の取り組みの中で考えるようにしていた。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会への参加が出来ていない。
- ・日々の業務を優先にする事で、ゆとりもなく参加機会を設ける事ができない場面もある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・積極的な研修の参加。ヒヤリハットを日々の業務に活かし事故防止に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月1日
9. 人権・プライバシー	メンバー	13名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	1	12	0	0	13

前回の改善計画

- ・タブレットの入力方法については検討を続け取り扱いについても定期的に話題にあげて意識づけを行う。
- ・情報の管理やプライバシー保護については研修の機会を持ち、参加できない職員にも必ず伝達できるようにする。

前回の改善計画に対する取り組み結果

- ・申し送りや会話がご利用者に聞こえないよう場面や音量に気をつけている。普段のご利用者の会話の中でもプライバシーや個人情報に繋がる内容はもらさないように気をつけた。
- ・タブレット内で共通の様式を導入する事で分かりやすくなった。
- ・こぶし園の小規模全体で定期的なタブレット委員会を行っている。タブレットについての使い方やわからない事を話し合い、各事業所に伝えている。
- ・タブレット使用時、開きっぱなしや情報がでているいる状態で置いたままにしない等の管理の取り扱いに気をつけた。

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	0	0	13
②	虐待は行われていない	9	4	0	0	13
③	プライバシーが守られている	1	12	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	9	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	12	0	0	13

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・業務メモを取る際は、頭文字のみにする等の工夫をして情報を特定されないよう配慮をした。
- ・個人情報の管理について、タブレット等を持ち出す際は十分に気をつけた。
- ・研修を行い、伝達も行っていた。身体拘束、虐待は行われていないが、繋がる事がないように定期的なミーティング、研修は必要。
- ・言葉遣いや不適切ケアにならないように意識している。
- ・ベッド離床の有感センサー使用について検討する際、必ずご家族に状況説明やなぜ必要かなどを連絡し相談してから行っている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報共有や申し送り時の場所などをご利用者の近くで行い声量などの配慮ができていない時がある。
- ・時々タブレットが置きっぱなしでログインの状態のことがあった。
- ・事業所の公用車が駐車してある事で、他利用者ご家族にサービス利用を知られてしまう事があった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・情報共有や申し送り時は場所や声量に注意する。言葉以外でも職員の行動(オムツ交換など)でご利用者の状況が他者に気付かれてしまう場合もあるためプライバシーが守られているか普段の動きを定期的に振り返る。